

健康経営支援に関する取組について

関連する分野別の取組
Ⅱ 社会で支える健康づくり

1. 目的

市内の事業所が、従業員及びその家族の健康管理を経営視点で捉え、自主的な取組を支援することにより、健康づくりに時間の取りづらい働き世代等の健康づくりの習慣化を目指す。

2. 概要

- ①健康経営優良事業所顕彰制度（R6～）
全国健康保険協会（協会けんぽ）と連携した顕彰制度
- ②健康経営優良法人認定取得支援補助金（R6～）
市内に本社がある企業を対象に、認定申請手数料の一部助成
- ③健康経営セミナー
企業の健康経営担当者や人事労務担当者を対象としたセミナーや交流会の開催
- ④事業所への健康づくり支援



3. 実績

①健康経営優良事業所顕彰制度

【R6】 5社 ○三扇化学（株）、ダイサン・（ドット）（株）、（株）トップライン
□（株）コダマサービス、名備運輸（株）

【R7】 5社 ○アイプラント（株）
□CKD（株）、（株）大京化学、日本クロージャー（株）小牧工場
（株）メイコン

※○は市・協会けんぽの共同表彰、□は市単独表彰

<令和7年2月4日（火）小牧市健康づくり推進事業所表彰式>



<令和8年2月6日（金）小牧市健康づくり推進事業所表彰式>



②健康経営優良法人認定取得支援補助金

【R6】 申請事業所数 19 事業所

【R7】 現在受付中

健康経営支援に関する取組について

③健康経営セミナー 小牧商工会議所、協会けんぽ、小牧市共催

【R6】 表彰式と同日開催。事業所の交流会として開催。

(交流会参加者33名、参加企業数22社)

【R7】 表彰式と同日開催。事業所の交流会及びミニ講座を開催。

(参加者24名、参加企業数16社、春日井保健所、小牧商工会議所、協会けんぽ、愛知産業保健総合支援センター参加)

健康経営エキスパートアドバイザーによる「知ってお得な健康経営トピック」講座



グループワーク「わが社の“推し”健康経営」



【交流会後アンケート】

◆交流会参加動機（複数回答）

- ・健康経営に関する取組の必要性があった 5名
- ・健康づくりのヒントが得られると思った 13名
- ・他社の健康経営の取組状況を知りたかった 12名
- ・他社の健康経営担当者との交流が欲しかった 8名
- ・小牧市の健康経営支援事業について知りたかった 8名

◆交流会の内容でよかったもの（複数回答）

- ・健康経営エキスパートアドバイザーによる「知ってお得な健康経営トピック」 8名
- ・グループワーク「わが社の“推し”健康経営」 19名
- ・愛知産業保健総合支援センター事業紹介 7名
- ・小牧市の健康経営支援紹介 8名

◆社員の健康づくりや健康経営に関して、現在抱えている悩みや課題（複数回答）

- ・社員の意識の差・参加意欲の低さ 10名
- ・何に取り組んでよいかわからない 3名
- ・経営層の理解・協力が得られない 3名
- ・予算の確保が難しい 6名
- ・人手不足・担当者が少ない 6名
- ・効果測定が難しい 5名

④事業所への健康づくり支援【歯科関連支援】

働き世代に向けた歯周疾患対策の一環として、交代制勤務のある事業所従業員に対し、市内事業所と連携した取組を行った。

【実施内容】 ・従業員健診時に歯周病簡易検査と当市歯科衛生士による個別保健指導を実施。
・該当者へ小牧市の健診受診券を再発行し受診勧奨を行った。

【現状】 対象者の約77%が中・高リスク群。6割以上が過去1年未受診。

【効果】 保健指導後、50%が受診意欲を示した。また、丁寧な歯磨き（40名）や補助用具の使用（29名）など、具体的なセルフケアの改善が見られた。
事後アンケートより、今回の取組が様々な行動変容につながったと考える。
加えて、該当者にはその場で小牧市の節目歯科健診の受診券の再発行を行ったことで、歯科受診行動へと移しやすい仕組みを提示できた。

【今後の展望】 節目歯科健診など本市が行っている歯科保健事業を知らない市民や事業所も多いことが課題である。今回の取組を踏まえて、働く世代へのアプローチを行うため、市内事業所への更なる周知・連携を図っていきたい。